

入園当初、新しい環境になり保護者の方と離れることをさみしく思い涙を見せる子どもたちもありました。不安な気持ちを受け止め、コミュニケーションをとっていく中で、安心して過ごしたり、わくわくして楽しい気持ちやドキドキする気持ち…たくさん思いを感じながら、一回りも二回りも成長した子どもたち。給食を全部食べられるようになったこと、お着替えを自分でしようと頑張りボタンも出来るようになったこと、排泄に成功したことなど、子どもたち一人ひとりの出来ることが増え「出来るよ！見ていてね」と自信へと繋がってまいりました。とても大切なこの乳幼児期を、保護者の皆様とともに見守ることが出来、本当にうれしく思います。たくさん笑顔に包まれた1年間、ありがとうございました。

年少組にいかれましても保護者の皆様ともどもお子様の成長を共育させていただき、充実した園生活となりますよう、引き続きのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。
(ばんだ組担任 松田 真規子)

あっという間の楽しい1年間でした。入園当初は赤ちゃんぼさの残るばんだ組の子どもたちでしたが、今では心も身体も一回り大きくなって、表情や言葉からも自分の意思をしっかりと感じられます。大きくなりましたね。『一緒にいることが楽しい』『○○ちゃんが好き』と前向きな気持ちが育っている素敵なばんだ組の子どもたちです。その気持ちを大切にして進級という次のステップに踏み出してほしいと思います。私自身もその好きという気持ちをしっかりと伝えることの出来る子どもたちに何度も支えられてまいりました。

最後になりましたが、保護者の皆様、至らぬ点もあったかと思いますが、私たちを支えていただき、感謝申し上げます。一緒に子どもたちの成長を見守ってこれたことを幸せに思います。1年間ありがとうございました。

(ばんだ組担任 田中 ゆみ子)

直前インフォメーション



○2月26日(土)の説明会でお話しております、進級書類の提出につきましては、**3月15日(火)まで**に必ずご提出をお願いいたします。

また、保護者会でもお伝えをさせていただきましたが、ロッカー内の荷物等の持ち帰りがございますので3月22日(火)以降から無理のないよう徐々にお持ち帰りください。

(こあら組さんはそのまま使用いたしますので、お持ち帰りいただく必要はございません。)

3月の歌紹介

子ども園でも歌っているうたです。

ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

♪うれしいひな祭り

作詞：サトウハチロー

作曲：河村光陽

1 あかりをつけましょ ぼんぼりに
おはなをあげましょ もものはな
ごにんばやしの ふえたいこ
きょうはたのしい ひなまつり

2 おだいりさまと おひなさま
ふたりならんで すましがお
およめにいらした ねえさまに
よくにたかんじよの しろいかお

3 きんのびょうぶに うつるひを
かすかにゆする はるのかぜ
すこししろざけ めされたか
あかいおかおの うだいじん

4 きものをきかえて おびしめて
きょうはわたしも はれすがた
はるのやよいの このよきひ
なによりうれしい ひなまつり



♪春が来た

作詞：高野辰之

作曲：岡野貞一 編曲：三森桂子

1 はるがきた はるがきた どこにきた
やまにきた さとにきた のにもきた

2 はながさく はながさく どこにさく
やまにさく さとにさく のにもさく

3 とりがなく とりがなく どこでなく
やまでなく さとでなく のでもなく



3月の絵本②

子どもたちが興味を持っている本絵本

先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

・「おやすみゴリラくん」

作・絵：ベギー・ラスマン

訳：いとう ひろし

出版社：徳間書店



夜の動物園で管理人のおじさんが、動物のオリを見回ります。「おやすみゴリラくん」「たのしいゆめみなね、キリンさん」…。ところが、いたずら好きなゴリラくんがおじさんの持っていた鍵束をこっそり抜き取り、動物のオリを開けて回ったから、さあ大変！シンプルな面白さがあり、「もう1回よんで！！」と繰り返し楽しんでいきます。

食育について



1年間、ぱんだ組の食育について、ご紹介してきました。

日々のお給食で、お友だちと一緒に楽しく食事をしながら、食具の持ち方やお皿の持ち方、よく噛むこと、食事の姿勢やマナー等、少しずつ意識することが出来てきました。

最後はよく伺うお食事の悩みのポイントをまとめてお伝えさせていただきます。

○～食べムラがあり、好きな物だけを食べてしまう～

園ではコース料理のようにして、お腹のすいている時に苦手な食材にチャレンジする機会をもうけていました。味に少しずつ慣れてきて色々な物を食べられるようになってきた後半からはすべてのお皿（デザート以外）を並べて自分で食べるものの順番を決めて食べています。

ご家庭では大皿で出すのではなく、一人ずつセットして食卓に出しましょう。自分の分を認識できることが大切です。その際に適切な量であるかも食べる意欲につながってまいります。また、苦手な食材を食べることの意味を日頃から伝えていきましょう。「この野菜や魚は身体にとってこんな意味があるんだよ」とわかりやすい言葉でメリットを伝え、食べたくなるような気持ち作りをしております。食材のカットサイズを見直すことで食感や食べやすさも変わってきます。

○～おやつあげかた～

おやつはこどもの楽しみ。それで頑張れるお子様もいますので、もちろんあげていいのですがおやつをあげるタイミングや量をしっかりと大人が決めて「今日はこれだけだよ」と渡してあげてください。ご飯をおいしく食べられるようするには適度にお腹を空かせていることが大切ですね。

○～食べる時に落ち着きがなくなる～

食卓が食べる環境となっていることが大切です。食べる時にはテレビを消したり、携帯電話もテーブルから離したりすることで、食べるという行為を「大切な物、大事な物」と意識出来るように、食事に集中できる環境を整えてあげましょう。また、食事中に「今日のお味噌汁の中には何が入っているかな？」などと食を考える話題をクイズのようにだしたりすることで「食べる＝楽しい」と思いながら食べることで、食事に集中できるようになっていきます。

いかがでしたでしょうか？

年少組になりましても、引き続き日々の食育を大切に、子どもたちの心身の健康のために楽しい時間にして参ります。ご家庭でも、ぜひお子様と一緒に、日々の食事を大切にしてくださいね。

